

基本情報

科目名	教職実践演習（高）
時間割コード	0229001701
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名	
柴田 恵子、古賀 由紀子、古江 佳織、嶋 政弘、古城 玲子、水間 宗幸、吉岡 久美、國木 孝治、日比 眞一	

詳細情報

授業の目的・到達目標	これまでの履修内容を統合することで確かな実践的指導力を身につける。具体的には、使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項、社会性や対人関係能力に関する事項、幼児・児童・生徒理解や学級経営等に関する事項、教科・保育内容等の指導力に関する事項、に関する知識・技術を修得し、実践が行えるようになる。本科目を履修することで「こころ」豊かな人間性を培い、生涯に亘って専門性を追求し自己研鑽に努める能力の必要性を確認する。
履修上の注意事項	事前事後学習については担当者の指示に従うこと。事前・事後学習に要する時間は各2時間である。授業においてはこれまでの学習経験を活かしたグループワーク、討議、発表を行う（アクティブラーニング）。
評価方法	授業態度（30%）、ポートフォリオを通しての評価（50%）、外部講師による評価（20%）
テキスト	随時、紹介する。
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	担当者は公立学校での養護教諭経験（古賀）、保健体育の教員経験（國木）、教員あるいは養護教諭として学校での実務経験（柴田）、看護師は病院での実務経験（吉岡、古江、古城）がある。

授業計画

授業計画	
<p>教師に関する研究(教育実習自己評価用紙を基に自己省察を行う) 自己省察(教育実習自己評価用紙を基に)</p> <p>学校教育におけるエコロジカルアプローチ(事例研究や対人援助技術を学び最新の子どもの発達に関する理解を深める) (1)事例研究(保護者地域社会との連携・協働について) (2)学校に関連した対人援助技術を学ぶ(保護者との関係性の構築の仕方等に関するロールプレイングを含む) (3)最近の知見に基づく子どもの発達に関する理解を深める。</p> <p>授業研究(実習生による模擬授業の実施と現職教諭を交えての授業研究を行う) (1)実習生による模擬授業の実施と現職教諭を交えての授業研究(その1) (2)実習生による模擬授業の実施と現職教諭を交えての授業研究(その2) (3)実習生による模擬授業の実施と現職教諭を交えての授業研究(その3)</p> <p>生徒指導(生徒指導の在り方及び不登校といじめ問題・ロールプレイングを含めた事例研究を行う) (1)生徒指導の在り方について(「生徒指導上の諸問題の現状について」)を基に (2)事例研究(不登校といじめ問題等) (3)事例研究(ロールプレイング含む)</p> <p>児童・生徒理解(玉名市内のスクールボランティア協力校・学校支援・市内協力高校でのフィールド学習を実施する) (1)スクールボランティアを活用したフィールド学習 (2)スクールボランティアを活用したフィールド学習 (3)スクールボランティアを活用したフィールド学習 (4)フィールド学習の振り返りと評価</p> <p>総括</p>	
* 事前事後学習に要する時間は各2コマで、各自、計画的に学習すること。	

授業計画

教師に関する研究(教育実習自己評価用紙を基に自己省察を行う)
自己省察(教育実習自己評価用紙を基に)

学校教育におけるエコロジカルアプローチ(事例研究や対人援助技術を学び最新の子どもの発達に関する理解を深める)

- (1)事例研究(保護者地域社会との連携・協働について)
- (2)学校に関連した対人援助技術を学ぶ(保護者との関係性の構築の仕方等に関するロールプレイングを含む)
- (3)最近の知見に基づく子どもの発達に関する理解を深める。

授業研究(実習生による模擬授業の実施と現職教諭を交えての授業研究を行う)

- (1)実習生による模擬授業の実施と現職教諭を交えての授業研究(その1)
- (2)実習生による模擬授業の実施と現職教諭を交えての授業研究(その2)
- (3)実習生による模擬授業の実施と現職教諭を交えての授業研究(その3)

生徒指導(生徒指導の在り方及び不登校といじめ問題・ロールプレイングを含めた事例研究を行う)

- (1)生徒指導の在り方について(「生徒指導上の諸問題の現状について」)を基に
- (2)事例研究(不登校といじめ問題等)
- (3)事例研究(ロールプレイング含む)

児童・生徒理解(玉名市内のスクールボランティア協力校・学校支援・市内協力高校でのフィールド学習を実施する)

- (1)スクールボランティアを活用したフィールド学習
- (2)スクールボランティアを活用したフィールド学習
- (3)スクールボランティアを活用したフィールド学習
- (4)フィールド学習の振り返りと評価

総括

* 事前事後学修に要する時間は各2コマで、各自、計画的に学習すること。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	教職実践演習（養護教諭）
時間割コード	0229001801
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名	
柴田 恵子、古賀 由紀子、古江 佳織、嶋 政弘、古城 玲子、水間 宗幸、吉岡 久美、國木 孝治、日比 眞一	

詳細情報

授業の目的・到達目標	使命感や責任感に裏打ちされた教員としての確かな実践的指導力が身についているかどうかの確認を行い、自らの養護教諭としての実践実習を評価しまとめることができる。 自らの能力・適性（資質）について、自ら描く養護教諭像と照らし合わせて研鑽すべき課題を述べるができる。本科目を履修することで「こころ」豊かな人間性を培い、生涯に亘って専門性を追求し自己研鑽に努める能力の必要性を確認する。
履修上の注意事項	これまでの教職に関する学習の総まとめの意味があるので、毎回関連する既習科目を復習し演習に臨むこと。 授業後は、行った演習を振り返り記録しポートフォリオを作成すること。 事前・事後学習に要する時間は各2時間である。授業においてはこれまでの学習経験を活かしたグループワーク、討議、発表を行う（アクティブラーニング）。
評価方法	講義についてのレポート、演習後の記録、グループワークでの活動、振り返りでの討論等を総合して評価する。
テキスト	これまで使用した教科書や資料を活用する。
参考文献	適宜、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当者は公立学校での養護教諭経験（古賀）、保健体育の教員経験（國木）、教員あるいは養護教諭として学校での実務経験（柴田）、看護師は病院での実務経験（吉岡、古江、古城）がある。

授業計画

授業計画	
<p>養護実習の学びを振り返り学校運営についての理解を確認するとともに、学校フィールドで再度児童生徒の理解を深める。学校保健を構成する保健教育・保健管理について、集団指導としての模擬授業、個別指導としての場面指導等の演習を通して実践的指導力を確認する。また課題解決のために組織活動をどのように行っていったらよいかを考える。具体的には下記授業計画のとおり。</p> <p>「教師」に関する研究 自己省察（養護実習自己評価紙を基に）（実習担当者） 学校教育におけるエコロジカルアプローチ (1)事例研究（保護者・地域社会との連携・協働について） (2)学校に関連した対人援助技術を学ぶ（保護者との関係性の構築の仕方等に関するロールプレイングを含む） (3)最近の知見に基づく子どもの発達に関する理解を深める。LD、ADHDをはじめとする特別支援教育に関する実践の基盤</p> <p>授業研究 模擬授業または現場での授業実施と現職教諭を交えての授業研究会(その1)～(その3) 健康問題への解決支援 個別指導の場面指導(疾病の場面指導) 個別指導の場面指導(生徒指導の場面指導：性の問題) 個別指導の場面指導(健康相談) 児童生徒理解 (1)スクールボランティアを活用したフィールド学習(1)～(3) (4)フィールド学習の振り返りと評価</p> <p>* 事前事後学修に要する時間は各2コマで、各自、計画的に学習すること。</p>	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
-----	--------	---------	----

授業計画

養護実習の学びを振り返り学校運営についての理解を確認するとともに、学校フィールドで再度児童生徒の理解を深める。学校保健を構成する保健教育・保健管理について、集団指導としての模擬授業、個別指導としての場面指導等の演習を通して実践的指導力を確認する。また課題解決のために組織活動をどのように行っていたらよいかを考える。具体的には下記授業計画のとおり。

「教師」に関する研究

自己省察（養護実習自己評価紙を基に）（実習担当者）

学校教育におけるエコロジカルアプローチ

(1)事例研究（保護者・地域社会との連携・協働について）

(2)学校に関連した対人援助技術を学ぶ（保護者との関係性の構築の仕方等に関するロールプレイングを含む）

(3)最近の知見に基づく子どもの発達に関する理解を深める。LD、ADHDをはじめとする特別支援教育に関する実践の基盤

授業研究

模擬授業または現場での授業実施と現職教諭を交えての授業研究会(その1)～(その3)

健康問題への解決支援

個別指導の場面指導(疾病の場面指導)

個別指導の場面指導(生徒指導の場面指導：性の問題)

個別指導の場面指導(健康相談)

児童生徒理解

(1)スクールボランティアを活用したフィールド学習(1)～(3)

(4)フィールド学習の振り返りと評価

* 事前事後学修に要する時間は各2コマで、各自、計画的に学習すること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	養護実習の学びから仮想学校構想、学校教育目標設定	オリエンテーション時に学習計画について説明する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
2	仮想学校の学校保健計画、保健室経営案作成	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
3	構想、計画案の発表会、討議	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
4	模擬授業(保健学習・保健指導)と現職教諭を交えての授業研究会(その1)	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
5	模擬授業(保健学習・保健指導)と現職教諭を交えての授業研究会(その2)	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
6	模擬授業(保健学習・保健指導)と現職教諭を交えての授業研究会(その3)	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
7	個別指導の場面指導(疾病の場面指導)	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
8	個別指導の場面指導(生徒指導の場面指導：性の問題)	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
9	個別指導の場面指導(健康相談活動)	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
10	(前次を受けて)指導における連携の在り方について討議	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
11	スクールボランティアを活用したフィールド学習	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
12	スクールボランティアを活用したフィールド学習	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
13	スクールボランティアを活用したフィールド学習	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	

授業計画

養護実習の学びを振り返り学校運営についての理解を確認するとともに、学校フィールドで再度児童生徒の理解を深める。学校保健を構成する保健教育・保健管理について、集団指導としての模擬授業、個別指導としての場面指導等の演習を通して実践的指導力を確認する。また課題解決のために組織活動をどのように行っていったらよいかを考える。具体的には下記授業計画のとおり。

「教師」に関する研究

自己省察（養護実習自己評価紙を基に）（実習担当者）

学校教育におけるエコロジカルアプローチ

(1)事例研究（保護者・地域社会との連携・協働について）

(2)学校に関連した対人援助技術を学ぶ（保護者との関係性の構築の仕方等に関するロールプレイングを含む

(3)最近の知見に基づく子どもの発達に関する理解を深める。LD、ADHDをはじめとする特別支援教育に関する実践の基盤

授業研究

模擬授業または現場での授業実施と現職教諭を交えての授業研究会(その1)～(その3)

健康問題への解決支援

個別指導の場面指導(疾病の場面指導)

個別指導の場面指導(生徒指導の場面指導：性の問題)

個別指導の場面指導(健康相談)

児童生徒理解

(1)スクールボランティアを活用したフィールド学習(1)～(3)

(4)フィールド学習の振り返りと評価

* 事前事後学修に要する時間は各2コマで、各自、計画的に学習すること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	フィールド学習の振り返りと評価	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
15	まとめ	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	

基本情報

科目名	教育実習（事前事後指導を含む）
時間割コード	0229002201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2023年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	3.0
学年	4
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古賀 由紀子、古江 佳織、嶋 政弘、古城 玲子、水間 宗幸、吉岡 久美、未定、國木 孝治、日比 眞一

詳細情報

授業の目的・到達目標	本学における教職課程で学んだ理論をもとに、学校現場における教育の実践的経験を通して、高校教諭に必要な資質や専門性、実践的指導力をもつことができる。教育実習をとおして、「こころ」豊かな人間性を培い、生涯に亘って専門性を追求し自己研鑽に努める能力の必要性を確認する。
履修上の注意事項	高校教諭1種免許状の取得希望者のみ。履修に当たっては教職課程履修細則が適用されるので、よく確認すること。 事前準備、事後の復習については担当者の指示に従うこと。事前事後学修に要する時間は各2コマである。授業ではアクティブラーニングを活用し展開する。
評価方法	実習校による評価（60%）、実習録・実習終了レポートによる評価（10%）、事前事後指導における平常の評価（授業態度等）（10%）、事前事後指導におけるレポート等による評価（20%）。 なお、事前事後指導、本実習のすべてにおいて、無断欠席は認められないので厳重に慎むこと。
テキスト	特に使用しない。資料を配布する。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当者は公立学校での養護教諭経験（古賀）、保健体育の教員経験（國木）、教員・養護教諭の実務経験（柴田）、あるいは病院勤務経験者（吉岡、古江、古城）である。

授業計画

授業計画
<p>1. 事前指導（3年次～4年次実習前） 教育実習の意義・心得、実習の内容や過程の理解、教育現場の事前理解、指導案の作成、実習に必要な知識・技術・技能の獲得、及び実習校の確定とその手続き、実習校との打ち合わせにかかわる実際的な指導</p> <p>2. 教育実習（4年次、2週間） 実習校の指導のもとで実習を行う</p> <p>3. 事後指導（4年次、実習後） 実習に関する反省と指導 体験内容の相互共有により実習経験の充実・深化をはかる。また終了レポートの作成、自己評価、体験発表、討論会等を行う。</p> <p>* なお、事前事後指導については、別途指導計画表を配布する。とくに3年次は専門の実習の関係で、事前指導の日程は、変則的に組まれるので注意すること。初回のガイダンスで詳細に説明する。事前事後学習に必要な時間は各2コマで、各自、計画的に学習すること。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	養護実習（事前事後指導を含む）
時間割コード	0229002301
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2023年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	5.0
学年	4
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古賀 由紀子、古江 佳織、嶋 政弘、古城 玲子、水間 宗幸、吉岡 久美、未定、國木 孝治、日比 眞一

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>保健室の在り方および養護教諭の果たすべき役割と「養護」の対象である児童生徒の心身、生活の状況、健康問題について実習校の実態に基づいて述べることができる。</p> <p>保健室に来室する児童生徒に対する中で、健康問題の発見・把握、健康問題の解決、予防のための指導などを適切に行うことができる。</p> <p>自らが養護教諭になった時の姿（養護教諭増）を描くことができる。</p> <p>実習をとおして、「こころ」豊かな人間性を培い、生涯に亘って専門性を追求し自己研鑽に努める能力の必要性を確認する。</p>
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に当たっては1単位の事前事後指導を受けること（養護教諭に必要な資質としての救急処置演習を含む） ・履修に当たっては教職課程履修細則が適用されるのでよく確認をすること ・実習校の計画に基づき実習を行なうこと ・実習の事前学習を行うこと（学校組織、子どもの発育・発達、養護活動など）また、実習後には振り返りレポートを書くこと。事前事後学修に要する時間は各2コマである。 ・授業ではアクティブラーニングを活用し展開する。
評価方法	<p>実習校における評価（70%）、実習録・実習終了レポートによる評価（10%）、事前事後指導における平常の評価（出席、授業参加等）、事前事後指導におけるレポートによる評価（20%）</p> <p>なお、事前事後指導、本実習のすべてにおいて、無断欠席は認められないので厳重に慎むこと。</p>
テキスト	養護実習の手引き及び配布資料
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	<p>担当者は公立学校での養護教諭経験（古賀）、保健体育の教員経験（國木）、教員・養護教諭の実務経験（柴田）、あるいは病院勤務経験者（吉岡、古江、古城）である。</p>

授業計画

授業計画
<p>1. 事前指導（3年次～4年次実習前）</p> <p>教育実習の意義・心得、実習の内容や過程の理解、教育現場の事前理解、指導案の作成、実習に必要な知識・技術・技能の獲得、及び実習校の確定とその手続き、実習校との打ち合わせにかかわる実際的な指導</p> <p>2. 教育実習（4年次、2週間）</p> <p>実習校の指導のもとで実習を行う</p> <p>3. 事後指導（4年次、実習後）</p> <p>実習に関する反省と指導 体験内容の相互共有により実習経験の充実・深化をはかる。また終了レポートの作成、自己評価、体験発表、討論会等を行う。</p> <p>*なお、事前事後指導については、別途指導計画表を配布する。とくに3年次は専門の実習の関係で、事前指導の日程は、変則的に組まれるので注意すること。初回のガイダンスで詳細に説明する。事前事後学修に要する時間は各2コマで、各自、計画的に学習すること。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			